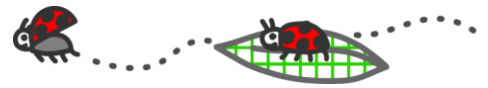


# 生徒指導だより

生徒指導部 文責・南里和哉



## 情報モラル教育 ~その2~

情報モラル教育の第2弾を各学級で実施しました。今回の授業テーマは、『ネット上のコミュニケーション』についてです。ネットの特性からトラブルになるリスクを予想し、自分と相手の受け取り方の違いについて考えていきます。

授業で扱った内容と授業後の生徒の感想を紹介します。保護者の皆さんも、「自分なら…」と考えてみられてはいかがでしょうか。

① 友達から次のメッセージが届きました。それぞれ **A B C** に分けてみましょう。



- A** すごくおもしろかった気持ち
- B** ちょっとだけおもしろかった気持ち
- C** いじわるな気持ち

まず、メッセージのやり取りで多く使用される「スタンプ」から、受け取り方の違いについて意見交換をしました。

「おれは全部 **A**」「**3**はいじわるな気持ちに感じるかな」など、スタンプだけでは相手に気持ちが十分伝わりづらいことを実感していました。

② どちらがトラブルになるリスクが高いでしょうか。

<b>A</b>	理由
<b>B</b>	
このあと起きる可能性があるトラブル	



次に、同じメッセージをグループトークと個人トークに送った際のトラブルになるリスクについて考えました。グループトークは多数の人がメッセージを見ることができるため、「私は褒めているつもりで送っても、他の人が馬鹿にしたりする可能性がある」「捉え方によっては、たかしくんだけが頑張っていると思われるかもしれない」など自分の気持ちが伝わりづらいと感じていました。

### ③部活動の友人とグループトークしています。この時、あなたならどうする？



最後に、グループトークのひと場面から、自分ならどうするか考えました。実際にメッセージやスタンプを使って、**返信する派**と**スルー派**に分かれました。

**返信する派**は、

「そうだね。明日も部活があるから頑張ろう。おやすみ」と送って寝る。

「明日話聞くから、今日は寝よう。」

「分かる。」「明日も頑張ろう。」のスタンプを送る。

**スルー派**は、

既読無視。未読無視。通知音消して寝る。などがありました。

#### 〈生徒の感想〉

- ・今回の授業で、ネット上では様々なトラブルが起きることが分かりました。人それぞれ感じ方が違うし、ちょっとしたことで大きなトラブルになるのが少し怖いなど感じました。これから生活の中で、グループトークする時には、「相手はどう思うか」「自分の発言でトラブルにならないか」など、よく考えて行動したいと思いました。【1年生】
- ・①のスタンプの捉え方でも、**3**がどのように捉えるか自分の中で迷った。捉え方が違うので、自分がトラブルを起こしかねないこと、人それぞれの捉え方があることを知っておく。②の内容は、オンラインゲームのチャットで似たような経験がある。【1年生】
- ・LINEなどでスタンプを送ったとき、良い意味で捉える人と悪い意味で捉える人がいる。また、連絡する時間帯も考えて、ネット上でコミュニケーションを取る必要がある。【2年生】
- ・LINEなどの文字だけの会話より、直接話をした方がトラブルは起きにくいし、私はそっちの方が人に伝えやすいので、大切なことは直接会ったときに言おうと思います。【2年生】
- ・最初、友だちと意見がずれていることがあり、意見の違いを実感することができた。【3年生】
- ・個人のトークは気をつけて送ろうと思って、送る前に確認をするようにしていました。しかし、グループで話すときは盛り上がり、話し口調で色々な捉え方ができるような文章を送ってしまう場面が何度もあります。私は仲の良い人と話していたので、多少の誤解が生まれても修正ができましたが、もし目上の人や関わりの少ない人だったとしたら、大きなトラブルになってしまうことがあると思います。【3年生】
- ・今日学んだことは、ネット上のコミュニケーションのテンポについてです。僕はまだ、LINEをしていないので、これからなのかと思うと緊張しました。今日は帰って、お母さん、お父さん、妹などにどう思うか聞いてみようと思った。【3年生】